

2k-5100R

297

数理解析研究所講究録 583

Automorphic representation
の研究

禁帯出期間

61.4.8 - 4.15

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1986年2月

序

この講究録は、昭和60年11月11日～13日の3日間にわたり、数理解析研究所で開かれた研究集会“Automorphic representationの研究”の報告集であり、各論文は実際に行われた十二の講演に対応している。この論文集がこの方面の研究の一助になれば幸いである。

講演者の旅費等の経費は、数理解析研究所と文部省科学研究費総合A(課題番号60302002, 代表者: 白谷克巳教授)から支給された。白谷教授には、計画の段階から色々御教示を頂いた。ここに記して深く感謝したい。講演者の方々、研究集会に御協力下さった方々にも厚く感謝する。

昭和61年2月

吉田敬之

京都大学

87051322

図書

数理解析研究所

Automorphic representationの研究

研究集会報告集

1985年11月11日~11月13日

研究代表者 吉田 敬之 (Hiroyuki Yoshida)

目 次

1. On automorphic cuspidal representations of $U(2,2)$ -----	1
東北大・理 渡部 隆夫 (Takao Watanabe)	
2. 符号 $(2,2)$ のユニタリ群のL関数について-----	12
東大・理 菅野 孝史 (Takashi Sugano)	
3. 定符号3次ユニタリ群の類数について-----	38
早大・理工 橋本 喜一郎 (Ki-ichiro Hashimoto)	
東大・理 古関 春隆 (Harutaka Koseki)	
4. $0(1, q+1)$ 上の wave form について-----	59
東工大・理 高瀬 幸一 (Koichi Takase)	
5. On Certain Vector Valued Siegel Modular Forms of Degree Two -----	73
東工大・理 佐藤 孝和 (Takakazu Satoh)	
6. Siegel modular variety上の Holomorphic tensor -----	87
露峰 茂明 (Shigeaki Tsuyumine)	
7. 格子の自己同型群と跡公式の一般化-----	106
九大・教養 伊吹山 知義 (Tomoyoshi Ibukiyama)	
8. 実2次体上の A_q 拡大と Hecke作用素-----	120
名大・理 小池 正夫 (Masao Koike)	
" 谷川 好男 (Yoshio Tanigawa)	

9. cubic theta functionについて-----	133
名大・理 吉本 明宣 (Akinobu Yoshimoto)	
10. Jacobi formsに付随するL-函数について-----	140
東大・理 村瀬 篤 (Atsushi Murase)	
11. Jacobi形式と Maass relation-----	161
九大・理 山崎 正 (Tadashi Yamazaki)	
12. 2次形式の局所密度とアイゼンシュタイン級数のフーリエ係数について-----	167
名大・理 北岡 良之 (Yoshiyuki Kitaoka)	
13. Local densities of quadratic forms and Fourier coefficients of Eisenstein series -----	169
名大・理 北岡 良之 (Yoshiyuki Kitaoka)	